

令和3年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

事業名	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業			担当部局庁	都市局	作成責任者				
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	令和元年度	担当課室	公園緑地・景観課	課長 五十嵐 康之				
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律、景観法、都市再生特別措置法			関係する 計画、通知等	国土のグランドデザイン2050(H26.7.4)、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業制度・交付要綱(H31.4.1,H29.4.1)					
主要政策・施策	観光立国、地方創生			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	都市における一定規模の人口を確保するために、景観・歴史資源となる建造物の修理・改修等や景観や歴史文化といった地域資源に着目した魅力ある地域づくりに資する取組への支援を行うことにより、地域内外からの観光を始めとした人口交流による地域の賑わい等を創出し、居住人口の集約促進や地域活性化を図る。									
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	人口密度を維持するエリア等を求心力のある魅力的な環境とすることで、居住等の誘導により都市再興を促進する。また、観光等地域資源を活用する区域においては、景観・歴史資源となる建造物の修理・改修・協調増築等を含めた景観・歴史的風致形成に資する取組において、地域活性化に対する総合的な支援を行う。 【補助率】・実施主体:地方公共団体の場合 1/3(歴史的風致形成建造物の場合 1/2) ・実施主体:地方公共団体以外の場合 地方公共団体が補助する額の1/2以内で、かつ当該事業に要する費用の1/3以内									
実施方法	補助									
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	190	102	-	-				
		補正予算	-	-	-	-				
		前年度から繰越し	46	130	64	-				
		翌年度へ繰越し	▲130	▲64	-	-				
		予備費等	-	-	-	-				
	計	106	168	64	0	0				
	執行額	104	160	52						
	執行率(%)	98%	95%	81%						
	当初予算+補正予算に対する 執行額の割合(%)	55%	157%	#DIV/0!						
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	(目)集約促進景観・歴史的 風致形成推進事業費補助 金	-	-							
	計	-	0							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 -年度	目標最終年度 1年度	
	過年度までの実績を踏まえ、目標値の見直しを行い、令和元年度までに景観計画又は歴史的風致維持向上計画に基づいた居住等機能の立地誘導に資するまちづくりの活動数を56まで引き上げる。	景観計画又は歴史的風致維持向上計画に基づいた居住等機能の立地誘導に資するまちづくりの活動数	成果実績	活動数	51	56	-	-	56	
			目標値	活動数	40	56	-	-	56	
			達成度	%	127.5	100	-	-	100	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	各地方公共団体における本事業活用実績に関する現況調査(国土交通省都市局調べ)									
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 -年度	目標最終年度 2年度	
	景観まちづくり刷新支援事業を活用した地方自治体における令和2年度の観光入込客数を、平成27年度比10%増加させる。	景観まちづくり刷新支援事業を活用した地方自治体における観光入込客数の増加割合(平成27年度比増加観光入込客数)/(平成27年度観光入込客数)×100%	成果実績	%	1.5	1.5	15	-	15	
			目標値	%	-	-	-	-	10	
			達成度	%	15	15	150	-	150	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	各地方公共団体の観光入込客数に関する実績調査(国土交通省都市局調べ)									
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込		
	補助事業実施箇所数	活動実績	箇所数	12	16	4	-	-		
		当初見込み	箇所数	13	16	4	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込			
	執行実績額(百万円) /補助事業実施箇所数	単位当たり コスト	百万円	9	10	13	-			
		計算式	百万円 /箇所数	104/12	160/16	52.2/4	-			

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化								
	施策	21 景観に優れた国土・観光地づくりを推進する								
	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標年度 年度	
			実績値	-	-	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	-	-	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	本事業により、地域固有の資源である良好な景観の形成や歴史的風致の形成に資するまちづくり活動に対して支援することで、観光振興による交流人口の拡大や地域振興・活性化が図られ、景観に優れた国土・観光地づくりの推進に寄与する。									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:							
		KPI (第一階層)			単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度
			成果実績							
目標値										
達成度			%							
KPI (第二階層)				単位	計画開始時 年度	2年度	3年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度	
	成果実績									
	目標値									
達成度		%								
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係										

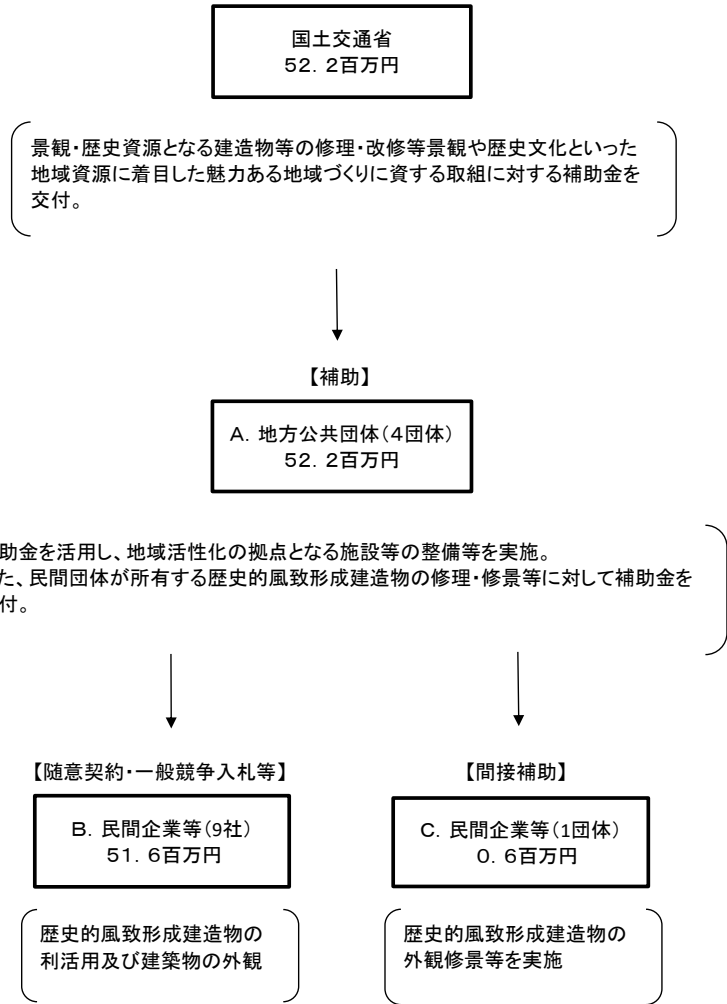
事業所管部局による点検・改善

	項目	評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	急激な人口減少社会においても、地域の活性化を図るためには一定規模の人口を確保するための施策が求められており、国民や社会のニーズを的確に反映している。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	「経済財政運営と改革の基本方針2018」において都市の活力を高め、にぎわいを創出するため、コンパクト・プラス・ネットワークの形成を進めるとされており、併せて国としての国土づくりの理念や方針を示した「国土のグランドデザイン2050」において国の基本戦略にもなっていることから国が支援すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	集約型都市への転換と併せて地域の魅力を向上させる施策であり優先度は高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	発注先の選定にあたっては、一般競争や総合評価方式等を採用しており、透明性・競争性・公平性の確保を図っている。なお、競争性のない随意契約となった業務については、履行にあたり高い専門性が求められるため、妥当である。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	交付要綱に定めている負担割合に基づき事業を実施しており、負担関係は妥当である。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	申請内容を精査し、真に必要な内容についてのみ補助することとしており、単位あたりのコストは妥当である。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	資金の流れの中間段階においても支出先の選定に当たっては、当該自治体が指定した都市景観の形成上重要な建築物等に支出しており、合理的な支出となっている。また、交付要綱に定める負担割合に基づき、適正な支出が行われていることを確認している。
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	制度要綱に基づき、交付対象を集約型都市構造への転換を促進する事業又は、観光振興を促進する事業としており、真に必要なものに限定している。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	コロナ対策等による予算の再編が行われることとなり、効率的な施工方法の検討などにより、事業計画を見直すとともに契約価格が予定より下回ったことにより、不用額が発生したものである。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	景観計画又は歴史的風致維持向上計画に基づいた居住等機能の立地誘導に資するまちづくりの活動数は、成果目標を達成している。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和2年度の活動実績は当初見込みの4箇所全てとなり、目標を達成している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	歴史的価値の高い建造物の外観が修景され、まちの魅力の向上に資する建造物として活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	景観まちづくり刷新支援事業により景観重要建造物等の保存等、ハード事業を実施する景観まちづくり刷新モデル地区において、同建造物等を利活用するためのコーディネート活動等のソフト事業を行う場合、本事業を活用する。				
	<table border="1"> <tr> <td>所管府省名</td> <td>事業番号</td> <td>事業名</td> </tr> <tr> <td>国土交通省</td> <td>20 - 0315</td> <td>景観まちづくり刷新支援事業</td> </tr> </table>	所管府省名		事業番号	事業名	国土交通省	20 - 0315
所管府省名	事業番号	事業名					
国土交通省	20 - 0315	景観まちづくり刷新支援事業					
点検・改善結果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業が有効に活用されるよう関係機関への周知等の実施や、実効性の高い仕組みとなるよう集約型都市への転換の方向性と合致させながら対象地域の拡充等を図った結果、景観計画又は歴史的風致維持向上計画に基づいた居住等機能の立地誘導に資するまちづくりの活動数が増加し、目標値を達成した。</li> <li>・景観まちづくり刷新モデル地区を有する地方公共団体においても本事業が活用されており、的確に景観まちづくり刷新支援事業と連携が行われている。</li> </ul>					
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的風致を活用したまちづくりは、国際観光資源として外国人旅行者の地方への誘客に繋がるほか、地域住民の意識向上や個性豊かな地域の形成にも資することから、今後も地域の歴史的資源の保全・活用等が図られる取組を推進する。</li> </ul>					
<b>外部有識者の所見</b>							
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>							
終了予定	令和元年度をもって事業終了。施策目標の達成状況等を検証し、今後、同様の事業を実施する場合に活かしていくべき。						
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>							
り予定終了通	令和元年度をもって終了したが、目標の達成状況を検証し、今後の同種の事業実施において参照することにより、効果的な景観行政の推進を図る。						
<b>備考</b>							
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>							
平成25年度							
平成26年度	新26-034						
平成27年度	251						
平成28年度	258						
平成29年度	0247						
平成30年度	0248						
令和元年度	国土交通省 - 0247						
令和2年度	国土交通省 - 0274						

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.福山市			B.瀬戸電設工業株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	46	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金	福山城公園天守他夜間景観照明設置工事	24
計		46	計		24
C.(一社)長門市観光コンベンション協会			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
集約促進景観・歴史的風致形成推進事業費補助金	長門市観光パンフレット刷新版作製業務	0.6			
計		0.6	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.地方公共団体

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	福山市	7000020342076	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	45.6	補助金等交付	-	-	
2	長崎市	6000020422011	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	5.3	補助金等交付	-	-	
3	橿原市	3000020292052	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	0.7	補助金等交付	-	-	
4	長門市	5000020352110	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業	0.6	補助金等交付	-	-	

B.民間企業等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	瀬戸電設工業株式会社	4240001031099	福山城公園天守他夜間景観照明設置工事	24	一般競争契約 (総合評価)	5	91%	-
2	株式会社石井幹子デザイン事務所	6011001002169	福山城夜間景観照明デザイン・設計業務	10	随意契約 (その他)	-	-	-
3	凸版印刷株式会社	7010501016231	福山城VR制作業務	9	随意契約 (その他)	-	-	-
4	株式会社藤木博英社	3310001004032	長崎MAP印刷	3	一般競争契約 (最低価格)	3	90.6%	-
5	株式会社石井幹子デザイン事務所	6011001002169	福山城公園天守他夜間景観照明設置工事に伴う意匠監修業務	2	随意契約 (その他)	-	-	-
6	(一社)夜景観光コンベンション・ビューロー	2030005015690	環長崎港夜間景観整備(遠景)デザイン検討業務委託	1	随意契約 (その他)	1	100%	-
7	(株)ライティングプランナーズ アソシエーツ	5011001026409	環長崎港夜間景観整備(中・遠景)デザイン検討業務委託	0.9	随意契約 (その他)	1	100%	-
8	株式会社緑景	8120001092216	景観計画等改定業務委託	0.7	一般競争契約 (最低価格)	3	64.3%	-
9	株式会社小山オフセット印刷所	9240001030641	(仮称)福山城周辺景観地区啓発リーフレット印刷	0	随意契約 (少額)	2	63.3%	-

C.民間企業等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(一社)長門市観光コンベンション協会	7250005004997	長門市観光パンフレット刷新版製作業務	0.6	その他	-	-	-

令和3年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

事業名	都市局景観形成推進費			担当部局庁	都市局	作成責任者			
事業開始年度	令和元年度	事業終了 (予定)年度	令和2年度	担当課室	公園緑地・景観課	課長 五十嵐 康之			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	屋外広告物法			関係する 計画、通知等	投影広告物条例ガイドライン(H30.3.30)、プロジェクションマッピング実施マニュアル(H30.3.30)				
主要政策・施策	観光立国、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	近年、プロジェクションマッピングに係る技術は大きく進展しており、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会等の国際的なイベントや、訪日外国人旅行者の消費拡大に向けたナイトタイムエコノミーのコンテンツとして、その活用ニーズが高まっている。そこで、プロジェクションマッピング等の屋外広告物の活用を促進することで、まちの活性化や都市の魅力向上に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	プロジェクションマッピング等のまちの活性化に資する屋外広告物の活用を促進するため、投影広告物条例ガイドラインを踏まえて策定された条例や無形・有形広告物がまちの活性化に寄与している事例等を収集・分析し、まちの活性化や都市の魅力向上に資する屋外広告物のあり方の検討を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	10	7	-	-	-	
		補正予算	-	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	-	
		計	0	10	7	0	0	0	
	執行額		0	10	7	-	-	-	
	執行率 (%)		-	100%	100%	-	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	100%	100%	-	-	-	
令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由				
	(目)景観形成推進調査費		0	0					
			-	-					
	計		0	0					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 年度	目標最終年度 3 年度
	令和3年度までにプロジェクションマッピングの活用実績を190件にする。	プロジェクションマッピングの活用件数	成果実績	件	90	71	79		
			目標値	件					190
			達成度	%	47.4	37.4	41.6		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	プロジェクションマッピングの活用実績に関する現況調査(国土交通省都市局調べ)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度 活動見込	4年度 活動見込
	本調査で収集・分析したまちの活性化に資するプロジェクションマッピング等の活用事例数		活動実績	件	-	13	17	-	-
			当初見込み	件	-	10	10	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	3年度活動見込	
	執行実績(百万円) ／事例数(件)		単位当たり コスト	百万円	-	0.8	0.4	-	
計算式			百万円/ 件	-	10/13	6.6/17	-		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策		6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化									
	施策		21 景観に優れた国土・観光地づくりを推進する									
	測定指標	定量的指標				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年度	
									年度	年度		
		実績値			件	-	-	-	-	-	-	
		目標値			件	-	-	-	-	-	-	
	定量的指標				単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標	目標年度		
								年度	年度			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	本事業により、地方公共団体におけるプロジェクションマッピング等のまちの活性化に資する屋外広告物の活用が促進され、景観に優れた国土・観光地づくりの推進に寄与する。											
新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項	分野:	-									
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)				単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年度	
							年度			年度	年度	
		成果実績			-	-	-	-				
	目標値			-	-	-	-					
	達成度			%	-	-	-					
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)				単位	計画開始時	2年度	3年度	中間目標	目標最終年度	
					年度			年度	年度			
成果実績			-	-	-	-						
目標値			-	-	-	-						
達成度			%	-	-	-						

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明					
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	プロジェクションマッピング等の屋外広告物は、国際的なイベントやナイトタイムエコノミーのコンテンツとして、活用ニーズが高まっており、その活用により、まちの活性化や都市の魅力向上に資することから、本調査の目的は国民や社会のニーズを的確に反映している。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本調査はプロジェクションマッピング等の屋外広告物について、屋外広告物法や投影広告物条例ガイドライン等を踏まえたあり方の検討を行うものであるため、国が取り組むべき必要がある。					
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	屋外広告物の活用により地域の魅力を向上させ、活性化を図る施策であり優先度は高い。					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	発注先の選定にあたっては、企画競争による手続きにおいて、企画提案書の匿名評価方式による書類評価を実施するとともに、提案の特定にあたり外部の学識経験者からなる企画競争有識者委員会による審査を行い、透明性・公平性の確保を図っている。					
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有						
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無						
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-						
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	受注者の見積もりは積算との比較を行っており、妥当である。					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-						
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	効果的・効率的な屋外広告物の活用を図るため、プロジェクションマッピング等のまちの活性化に資する屋外広告物の調査に限定している。					
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-						
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-							
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-							
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	令和2年度の実績は令和元年度と比べて、活用件数が増加した。					
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みを上回っている。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	本事業は令和元年度から実施しているものであり、その成果を活用し、全国でのプロジェクションマッピング等の屋外広告物の活用を促進する。					
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>所管府省名</th> <th>事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	所管府省名	事業番号	事業名				
所管府省名	事業番号	事業名						
点検・改善結果	点検結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地方公共団体からの聞き取り等を行い、効果的に調査を実施した。</li> <li>・業務の実施にあたっては、適切な指示を行うなど、国が求める調査になっているか、調査結果のとりまとめ及び今後の普及展開のあり方に向けた調査内容に過不足はないかなどの確認を逐次行い、事業の効率性・有効性を踏まえ、的確な執行を図った。</li> <li>・なお、完了実績報告を通じて、成果物の内容が、国の求める調査事項を網羅していること、国が指示した整理方法となっていることを確認した。</li> </ul>					
	改善の方向性		・令和2年度をもって終了したが、現時点で目標が未達である理由を検証し、今後の同種の事業実施において参照することにより、効果的な屋外広告物の活用の推進を図る。					
外部有識者の所見								
行政事業レビュー推進チームの所見								
終了予定	令和2年度をもって終了。目標値と実績値が大きく乖離しており、その理由を検証し、今後の屋外広告物の活用推進に活かすべき。							



所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

予  
終  
定  
了  
通  
り

令和2年度をもって終了したが、現時点で目標が未達である理由を検証し、今後の同種の事業実施において参照することにより、効果的な屋外広告物の活用を推進していく。

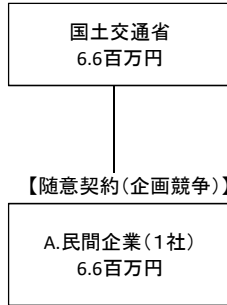
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成29年度			
平成30年度	新31 - 0027		
令和元年度	国土交通省 - 新31 - 0040		
令和2年度	国土交通省 - 0275		

※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



まちな活性化に資する屋外広告物のあり方について、現地調査、情報事例の収集・整理

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.民間企業			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
景観形成推進調査費		屋外広告物適正化等検討調査	6.6			
	計		6.6	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

## 支出先上位10者リスト

### A.民間企業

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社都市環境 研究所	7010001005552	屋外広告物活用促進検討 調査	6.6	随意契約 (企画競争)	1	98%	

令和3年度行政事業レビューシート ( 国土交通省 )

<b>事業名</b>	景観改善推進事業			<b>担当部局庁</b>	都市局	<b>作成責任者</b>					
<b>事業開始年度</b>	令和2年度	<b>事業終了 (予定) 年度</b>	令和6年度	<b>担当課室</b>	公園緑地・景観課	課長 五十嵐 康之					
<b>会計区分</b>	一般会計										
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	景観法			<b>関係する 計画、通知等</b>	社会資本整備重点計画(R3.5.28閣議決定)、観光立国推進基本計画(H29.3.28閣議決定)						
<b>主要政策・施策</b>	観光立国			<b>主要経費</b>	その他の事項経費						
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)</b>	地域への「誇り」や愛着を持ち、地域住民にとって住みよい環境を整備するとともに、内外からの観光客の訪問先となる魅力あるまちづくりを推進するためには、歴史的なまちなみや自然景観など、地域の個性や特性を活かした「地域の顔」となる景観形成を図ることが重要であるという認識のもと、本事業により地域における魅力ある景観形成に向けた取組を支援し、地域活性化や観光立国の実現を図る。										
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	地方公共団体における景観計画の策定・改定に向けた検討、検討にあたっての外部専門家の登用やコーディネート活動に対する支援、景観規制上の既存不適格となる建築物等への是正措置(外観の塗り替え等)といった、地域における魅力ある景観形成に向けた取組を支援する。 【補助率】事業主体: a.立地適正化計画策定または策定に向けた具体的取組を開始・公表している市区町村 1/2 (景観規制上の既存不適格となる建築物等への是正措置は1/3) 事業主体: b.景観に関連のある計画等を定めている市区町村(aを除く) 1/3										
<b>実施方法</b>	補助										
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度要求				
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	130	79	89				
		補正予算	-	-	-	-					
		前年度から繰越し	-	-	-	42	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 42	-					
		予備費等	-	-	-	-					
		計	0	0	88	121	89				
	執行額		0	0	85						
	執行率 (%)		-	-	97%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)		-	-	65%						
<b>令和3・4年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>		令和3年度当初予算	令和4年度要求	主な増減理由						
	(目)景観改善推進事業費補助金		79	89	景観計画策定・改定に要する経費に関して、自治体からの事業補助の要望が増加しているため。						
	-		-	-							
	計		79	89							
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>		<b>成果指標</b>			<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>中間目標 - 年度</b>	<b>目標最終年度 2 年度</b>
	令和2年度までに景観計画を策定した市町村の数を約700団体にする。		景観計画を策定した市区町村の数	成果実績	団体	558	584	608	-	608	
				目標値	団体	700	700	700	-	700	
				達成度	%	79.7	83.4	86.9	-	86.9	
<b>根拠として用いた 統計・データ名 (出典)</b>	各市町村における景観改善の実績に関する現況調査(国土交通省都市局調べ)										
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>		<b>成果指標</b>			<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>中間目標 - 年度</b>	<b>目標最終年度 6 年度</b>
	令和6年度までに本事業における既存不適格の是正等により、景観改善が図られた地区数を50地区数とする。		本事業において景観改善が図られた地区数	成果実績	地区数	-	-	12	-	-	
				目標値	地区数	-	-	50	-	50	
				達成度	%	-	-	24	-	-	
<b>根拠として用いた 統計・データ名 (出典)</b>	各市町村における景観改善の実績に関する現況調査(国土交通省都市局調べ)										
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>					<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>3年度 活動見込</b>	<b>4年度 活動見込</b>
	補助事業を実施した自治体数				活動実績	件	-	-	39	-	-
					当初見込み	件	-	-	70	70	-
<b>単位当たり コスト</b>	<b>算出根拠</b>					<b>単位</b>	平成30年度	令和元年度	令和2年度	<b>3年度活動見込</b>	
	執行額/補助事業実施自治体数				単位当たりコスト	百万円	-	-	2	2	
				計算式	百万円/件	-	-	85/39	121/70		

政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	6 国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化								
	施策	21 景観に優れた国土・観光地づくりを推進する								
	政策評価	測定指標	定量的指標		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
			景観計画を策定した市区町村の数	実績値	団体	558	584	608	-	608
				目標値	団体	-	-	700	-	700
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	本事業により、地方公共団体による景観計画の策定が促進され、景観に優れた国土・観光地づくりの推進に寄与する。									
	新経済・財政再生計画改革工程表 2020	取組事項 (第一階層)	分野:	-	-					
			KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値		-	-	-	-	-	-			
達成度		%	-	-	-	-	-			
取組事項 (第二階層)		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	2年度	3年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
		成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
達成度		%	-	-	-	-	-			
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の必要性	項目	評価	評価に関する説明							
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	景観計画の策定によって地域の魅力ある景観形成を図ることは、国民の生活の満足度向上に加え、景観を資源としたまちづくりによる地域社会のコミュニティの形成や観光客の増加による経済の活性化に資することから、本調査の目的は国民や社会のニーズを的確に反映している。							
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	地域の魅力ある景観形成を図ることにより、インバウンドの増加等による集客力の向上や、域内消費の拡大等による地域経済の底上げが図られることから、国として、景観計画未策定である地方自治体の景観計画策定を促進する必要があるため、国が支援すべき事業である。							
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	社会資本整備重点計画に掲げられている「世界に誇れる日本の美しい景観・良好な環境の形成」や、観光立国推進基本計画に掲げられている「景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上」に資するものであることから、優先度が高い事業である。								
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	発注先の選定にあたっては、一般競争や総合評価方式等を採用しており、透明性・競争性・公平性の確保を図っている。							
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	なお、競争性のない随意契約となった業務については、履行にあたり高い専門性が求められるため、妥当である。							
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有								
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	市町村にも適正な負担を求めることとしており、受益者との負担関係は妥当である。							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	申請内容を精査し、真に必要な内容についてのみ補助することとしており、単位あたりのコストは妥当である。							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	資金の流れの中間段階においても支出先の選定に当たっては、当該自治体が指定した都市景観の形成上重要な建築物等に支出しており、合理的な支出となっている。また、交付要綱に定める負担割合に基づき、適正な支出が行われていることを確認している。							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	制度要綱に基づき、交付対象を地域における魅力ある景観形成に向けた取組とし、真に必要なものに限定する。							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-								
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	年度内に事業完了するよう努めたものの、関係機関との協議に不測の日数を要したこと等の理由による繰越のため、妥当である。なお、規模の大きな事業で繰越が発生したため繰越額が大きくなっている。							
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-								
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	景観計画を策定した市区町村の数は、当初目標の700に対して604の成果があり、概ね成果目標を達成している。							
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-								
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	令和3年度へ繰越となった箇所があったものの、令和2年度の活動実績は39箇所となっており、目標の50%以上を達成している。							
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	歴史的価値の高い建造物の外観が修景され、まちの魅力の向上に資する建造物として活用されている。							

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	本事業は、社会資本整備重点計画に掲げられている「世界に誇れる日本の美しい景観・良好な環境の形成」や、観光立国推進基本計画に掲げられている「景観の優れた観光資産の保全・活用による観光地の魅力向上」に寄与する施策であり、優先度は高い。また、事業内容は、地域における魅力ある景観形成に向けて真に必要なものに限定し、適切な執行を図る。	
	改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果がより広く、また早期に発現するよう迅速な手続きや地方公共団体に対する説明会等による制度内容の周知、事業活用の事例の共有をより一層推進し、効率的な事業執行に努める。</li> <li>・地方公共団体との連携をより一層密にし、早期に事業着手すること等により、事業の年度内完了に努める。</li> </ul>	
<b>外部有識者の所見</b>			
「改善の方向性」に書かれているような取り組みを実現するようお願いしたい。			
<b>行政事業レビュー推進チームの所見</b>			
抜本的な改善の事業全体	目標の達成状況を見ると、景観計画の策定は進んでいる一方、初年度とはいえ、「令和6年度までに本事業における既存不適格の是正等により、景観改善が図られた地区数を50地区数とする。」の達成状況が目標値に比べて低いため、実効ある景観計画の策定を重点的に支援するなど、より実効ある景観計画の策定を後押しする形で事業を行っていただきたい。		
<b>所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</b>			
をに年検改度討善内	事業効果がより広く、また早期に発現するよう、取組を一層推進し、効率的な事業執行に努める。本事業において実効ある景観計画の策定を後押しする運用のあり方を検討する。		
<b>備考</b>			
<b>関連する過去のレビューシートの事業番号</b>			
令和元年度	国土交通省 - 新32 - 0032		
令和2年度	国土交通省 - 新02 - 0037		
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<p>※令和2年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。</p> <pre> graph TD     A[国土交通省 85百万円] --&gt; B["【補助金交付】 A.地方公共団体 85百万円 (39団体)"]     B --&gt; C["委託【一般競争入札等】 B.民間企業(直接補助) 82百万円 (49事業者)"]     B --&gt; D["【補助金交付】 C.民間企業等(間接補助) 3百万円 (12事業者)"]     C --&gt; E["景観計画の策定または見直しの検討業務を実施"]     D --&gt; F["建物の外観塗り替え等の是正措置を実施"] </pre>		

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.犬山市			B.吉永建設工業株式会社 犬山支店		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	景観改善推進 事業費補助金	景観改善推進事業	22.7	景観改善推進 事業費補助金	景観改善推進事業	22.7
	計		22.7	計		22.7
	C.ENEOS株式会社			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
景観改善推進 事業費補助金	景観改善推進事業	0.4				
計		0.4	計		0	

支出先上位10者リスト

A.地方公共団体

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	犬山市	3000020232157	景観改善推進事業	22.7	補助金等交付	-	-	
2	高山市	6000020212032	景観改善推進事業	9.6	補助金等交付	-	-	
3	南九州市	3000020462233	景観改善推進事業	4.2	補助金等交付	-	-	
4	下野市	6000020092169	景観改善推進事業	3.9	補助金等交付	-	-	
5	大村市	5000020422053	景観改善推進事業	3.4	補助金等交付	-	-	
6	豊田市	5000020232114	景観改善推進事業	3.3	補助金等交付	-	-	
7	俱知安町	4000020014001	景観改善推進事業	3.2	補助金等交付	-	-	
8	松本市	2000020202029	景観改善推進事業	3.1	補助金等交付	-	-	
9	山口市	2000020352039	景観改善推進事業	2.7	補助金等交付	-	-	
10	三島市	8000020222062	景観改善推進事業	2.6	補助金等交付	-	-	

B.民間企業(直接補助)

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	吉永建設工業株式 会社 犬山支店	8180001081279	旧天神汚水処理場解体工 事	22.7	一般競争契約 (最低価格)	3	80%	
2	有限会社高原建機	5200002025474	旧荘川学校教員住宅1号及 び2号解体工事	4.3	その他	6	94.3%	
3	(株)大翔	5340001003112	景観計画策定に伴う資料 作成業務	4.2	指名競争契約 (最低価格)	9	70%	
4	株式会社栃木都市 計画センター	3060001002986	景観計画策定業務委託	3.9	指名競争契約 (最低価格)	6	59%	
5	昭和株式会社	6011501002206	大村市景観計画見直し業 務委託	3.4	指名競争契約 (最低価格)	6	91.8%	
6	有限会社ライト・ハウ ス	2200002026120	飛騨民俗村駐車場便所新 築工事	3.3	指名競争契約 (最低価格)	4	99.9%	
7	株式会社都市環境 研究所	7010001005552	豊田市中心市街地景観計 画作成業務委託	3.2	随意契約 (その他)	-	-	
8	株式会社KITABA	4430001004457	景観計画・緑の基本計等検 討業務委託	3	指名競争契約 (最低価格)	4	95.1%	
9	八千代エンジニアリ ング株式会社山口事 務所	4010001086950	山口市景観ガイドライン作 成業務委託	2.7	一般競争契約 (最低価格)	2	100%	
10	株式会社オオバ 静 岡営業所	9013201001170	令和2年度景観重点整備 地区(一番町地区)指定原 案作成業務委託	2.6	一般競争契約 (最低価格)	4	83.9%	

C.民間企業等(間接補助)

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	ENEOS株式会社	4010001133876	屋外看板の修理・修景	0.4	補助金等交付	-	-	
2	株式会社すかいらー くホールディングス	2010001138365	屋外看板の修理・修景	0.3	補助金等交付	-	-	
3	ENEOS株式会社	4010001133876	屋外看板の修理・修景	0.3	補助金等交付	-	-	
4	株式会社幸楽苑	4380001025558	屋外看板の修理・修景	0.3	補助金等交付	-	-	
5	ENEOS株式会社	4010001133876	屋外看板の修理・修景	0.3	補助金等交付	-	-	
6	個人B	-	伝統的大工技術等承継事 業	0.2	補助金等交付	-	-	
7	個人A	-	伝統的大工技術等承継事 業	0.2	補助金等交付	-	-	
8	個人C	-	伝統的大工技術等承継事 業	0.2	補助金等交付	-	-	
9	株式会社サラダコス モ	2200001023366	屋外看板の修理・修景	0.1	補助金等交付	-	-	
10	個人D	-	ブロック塀等対策事業	0.1	補助金等交付	-	-	